

# 「Contemplation 5」

～十字架の恵み～

コロサイ2：6～14

## ①固定概念にとらわれない

人それぞれ、関わってきている価値観によって物事の見方が変わってきます。「氷が溶ける」という言葉一つでも、魚屋さんから見ると「魚が腐る」と思います。お酒をよく飲む人から見ると「酒がうすくなる」と思い、環境学者から見ると「世界が洪水となる」と思います。ある小学生は「春が来る」と言いました。聖書の見方も私達はこうあるべきだと思えます。「宗教はこうなんだ」と決めつけて話を聞くともったいないのです。本来、私達が聴くべき事をその既成概念によって聴くことができなくなるのです。自分が見ている情報等が本当に正しく、真実なのかをいつも感じなければならないのです。

「あなたがたは、このように主キリスト・イエスを受け入れたのですから彼にあつて歩みなさい。キリストの中に根ざし、また建てられ、また教えられたとおりに信仰を堅くし、あふれるばかり感謝しなさい」コロサイ2：6～7

神様が伝えたいのは「あなたの為に死んだ人がいる」という事なのです。私達は神から離れ自己中心をしたという罪から解放される為にイエス・キリストは十字架に架かって死んだのです。そしてイエス・キリストがよみがえった事によって、私達は新しい人生を歩めるのです。

Contemplation(黙想)とは、滅死奉主。十字架の恵みというのは絶えず自らが滅びるという事、これが理解されていれば自分が出てきません。人間関係の大半が自らが失われる事に対する恐れなのです。自分の立場、プライド、言葉、約束それが裏切られるという行為が私達を悩ませているのです。私達の心の中には絶えず他者から受けた被害があります。これは十字架の恵みとは相反するものです。私たちの心の中に「自分」があるのです。黙想する時は「自分」が出ていないかをよく見てください。あなたが、「自分、自分」言っているから争いが起きてしょうがないのです。神様は従うことはいけにえに勝ると言っているのです。それでも私達は従わなかったので、イエス・キリストは十字架に架かったのです。愛するあなたを創造し完璧に創り、すばらしい力と愛を与えてくれた神様が、何でもしていい、しかし一つだけしてはならないと言った事を守らなかった人間が、罪を犯した後に言ったことは「あなたの創ったあなたの女が・・・」と言ったのです。神様からそむいたのに神様のせいにしたのです。人間には「私は悪くない」という思いがありますが、これは神様が創ったあなたとは違えます。そして、イエス・キリストは黙って十字架に架かったのです。あなたの痛みも背負ったのです。教会は本当にあなたの為に死んだ人がいる犠牲の中であなたの為に死んでくれた人がいる事を知る場所です。ですから、その分、絶対に幸せになるというように理解するのです。意地でもです。そして新しく生まれ変わったのなら罪の性質の中に生きてはいけません。

## ①時を大切に

黙想する時に「時」を大切にしているかを考えて下さい。人間にもし寿命が定められていたらどうしますか？人は人生を無にはしません。あなたがイライラしたまま過ごす「時」を無駄にしないでください。あなたが喜んでいない状態で誰かを憎んでいる「時」があるなら、それは「時」を無駄にしているわけです。イエス・キリストが、あなたの為に死んで十字架に架かったのに、もしそんな事で「時」を過ごすのであれば、それは大変な損失を行っているのです。「休むな」と言っているのではなく「休まなければなりません」けれども、休むのは疲れたから休むではありません。私達はその価値観が間違ってしまうのです。明日に「備えるために」聖書は休めと言っているのです。一週間の中で神様は安息日を与えました。それは体を休める為ではあ

りません。体は五時間の睡眠で休まりますが、私達が疲れているのは「頭、脳細胞」です。私達はこの脳細胞の中に憎しみ、不安、恐れ、不機嫌、嘘、偽りがあると次の日の朝も疲れがとれていないのです。ですから夜、黙想してみてください。明日の為に休むのです。朝の為に夜があるのです。

「お互いに親切にし、こころの優しい人となり、神がキリストにおいてあなたがたを赦して下さったように、互いに赦し合いなさい。」エペソ4：32

「互いに忍びあい、誰かがほかの人に不満を抱くことがあっても互いに赦し合いなさい。主があなたがたを赦して下さったようにあなたがたもそうしなさい。」コロサイ3：13

私達が「時」を無駄にしない方法はこれです。

## ②赦し合う

憎んでいるのだとすれば、その時間は無駄です。何も生みません。憎んでいるうちは良くなりません。人のせいにしていううちは何も変わりません。「赦し合う」にはどうしたらいいのでしょうか？それは「イエスの御名によって赦します」と言うのです。十字架を思い起こしてみてください。イエス様は十字架でああなたの事を憎しんだでしょうか？自分が赦す以上に神様に赦しを乞うたのです。赦せない時というのは自分がした行動に対して苛立っている時もあるのです。自分を赦してあげる事と相手を赦してあげる事が大事です。聖書は「あなたが健康で健やかでこの地で幸せであるために」そうしましょう、と言っているのです。なぜかという、そんな時間は無駄だからです。

## ③自分を欺いてはいけない

「わかっている」なのにそのすべき決断を選ばない。これが私たちのキリストの愛から離す最大の罪の実です。十字架を無にしないでください。イエス・キリストを再び十字架にかけような事をしないで下さい。私たちは完璧を求められているわけではありません。できなくても自分を欺かずに頑張ろうという姿です。そこで一番自分を欺く方法は「自分は悪くない」という思いなのです。これが起きると向き合うことができなくなるのです。自分が自分を欺くのなら大変危険です。自分に嘘をついてはいないでしょうか？そしてそれは、神にも偽る事にもなるのです。ぜひ、自分の心と体を保って下さい。自らをあなどらないで下さい。自分を偽らないで下さい。

「また、御言葉を実行する人になりなさい。自分を欺いてただ聞くだけの者であってはいけません。」ヤコブ1：22  
「もし、罪はないと言うのなら、私達は自分を欺いており真理は私たちのうちにはありません。もし、私たちが自分の罪を言い表すなら神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。もし、罪を犯してはいないというのなら私たちは偽り者とするのです。神の御言葉は私たちのうちにありません。」Iヨハネ1：8～10

神様の前に自分を大切にしてください。食べるものだけ気を付けても意味がありません。もし、あなたが心を滅ぼしているのなら、その食物は無駄になります。しかし、もしあなたがたが自らの心の内を尊んで人を赦し自分を大切にするのならあなたは食物で豊かになるでしょう。聖書は、そう約束しています。

(要約者:小根久保 麻由美)

(11月20日)